

同志社女子大学大学院 薬学研究科医療薬学専攻 博士課程 履修モデル

事例①： 6年間の医療薬学を修めて、薬物療法におけるレギュラトリーサイエンスの重要性を痛感し、(独)医薬品医療機器総合機構で医薬品審査に従事することを目指している。
A群2単位、B群8単位、C群6単位、実習6単位、研究指導16単位、計38単位取得。
「副作用回避の手段としてのゲノミクステクノロジーの有用性」というテーマで博士論文を提出。

		1年次		2年次		3年次		4年次		単位		
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期			
A群 (基礎薬学領域)			微生物感染学特論②							特論	2	4
		基礎薬学総合実習②								実習	2	
B群 (医療薬学領域)			薬効安全性学特論②	レギュラトリーサイエンス 特論②	薬効評価学特論②					特論	8	10
					生態環境毒性学特論②							
			医療薬学総合実習②								実習	
C群 (実践的臨床薬学領域)				医薬品情報解析学特論②	治験・CRC特論②					特論	6	8
				生物薬剤学特論②								
					実践的薬剤処方解析実習 A②						実習	
研究指導科目		薬学特別研究－Ⅰ④(テーマ、方針の決定)		薬学特別研究－Ⅱ④(研究の遂行)		薬学特別研究－Ⅲ④(研究の遂行)		薬学特別研究－Ⅳ④(博士論文の完成)		16		
単位	半期	2	6	8	6	0	0	0	0	38		
	通年	4		4		4		4				
	計	12		18		4		4				